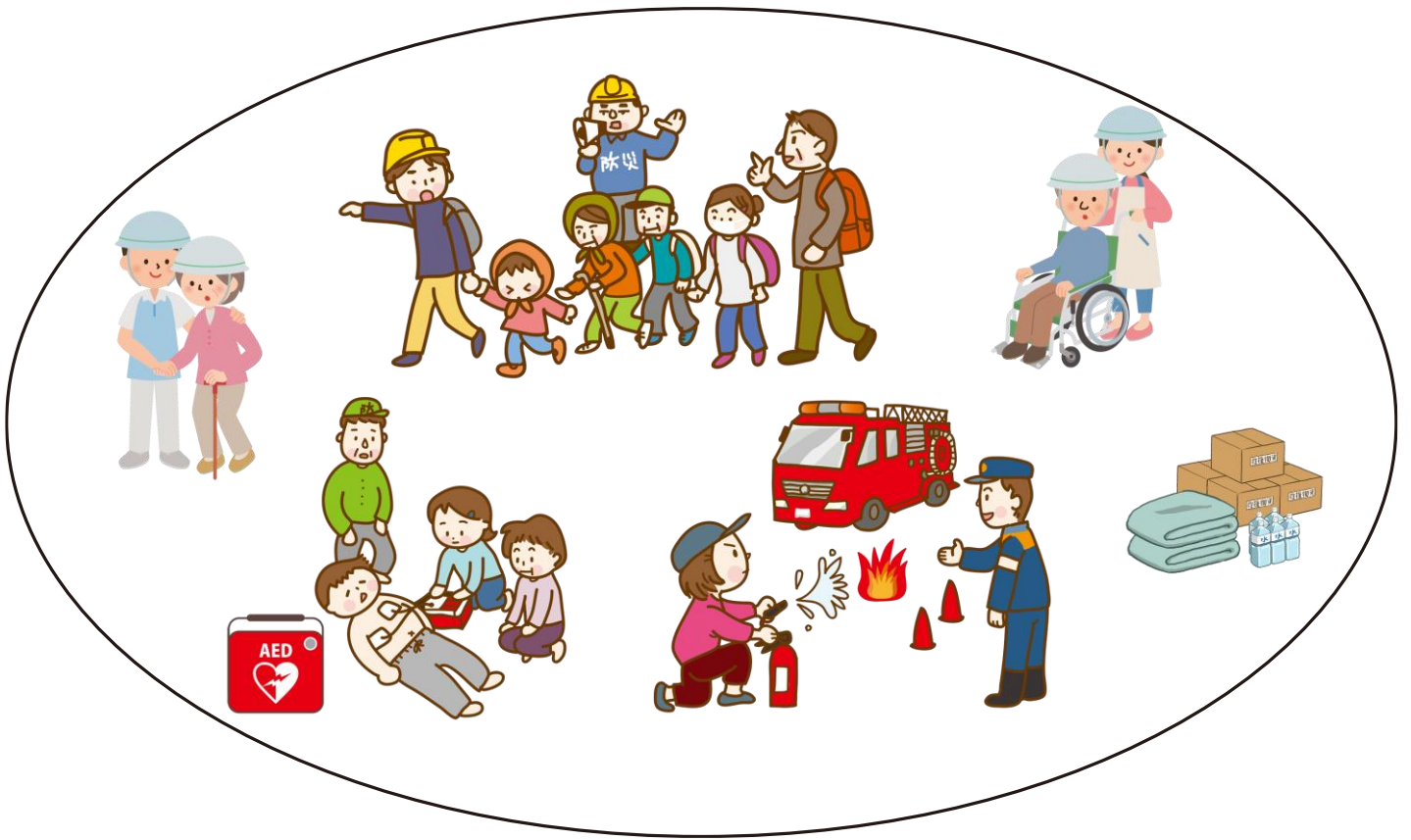


令和 5 年度

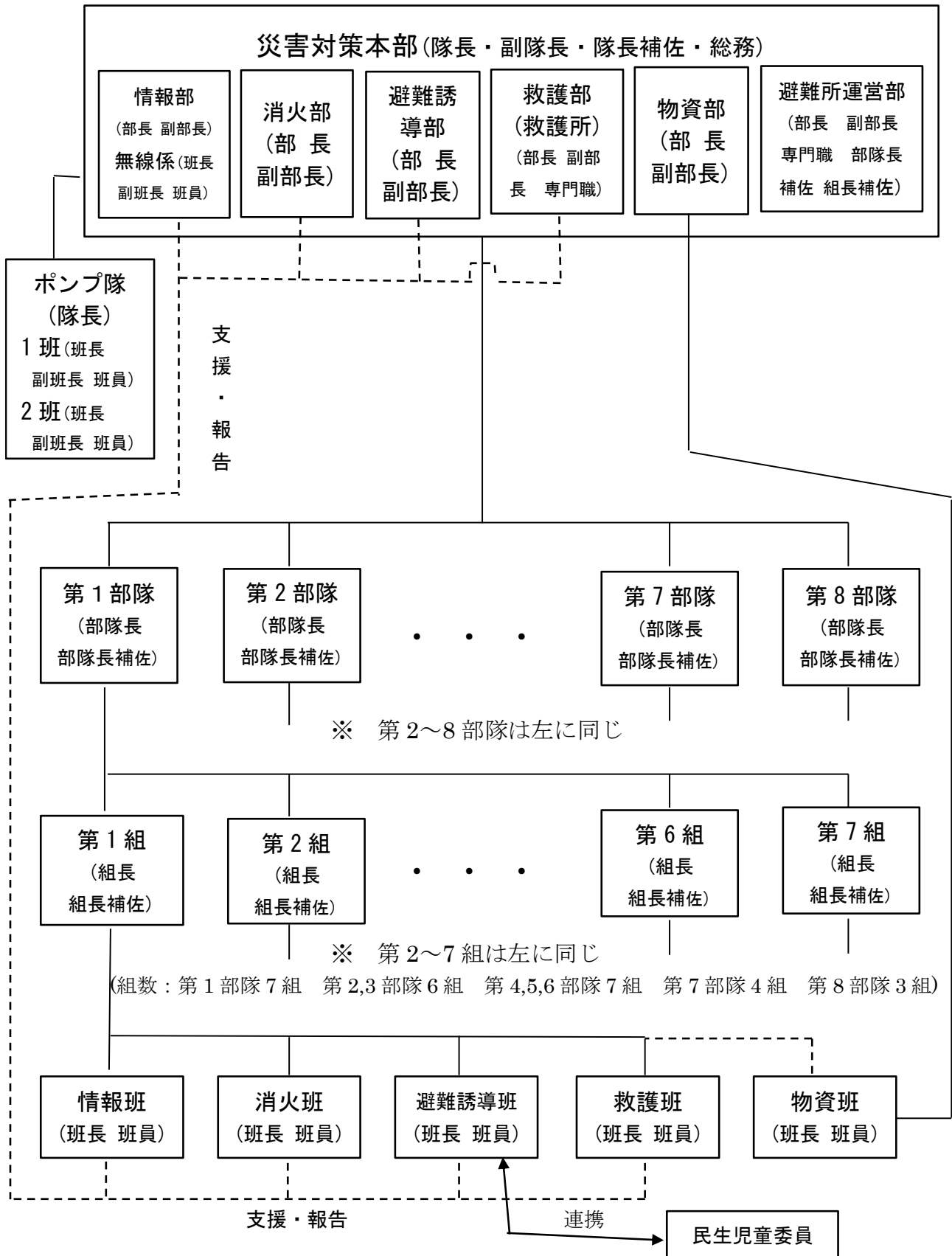
和合町防災訓練実施計画書



和合町自治会

和合町自主防災隊

和合町自主防災隊 組織編成表



※ 第 1 部隊第 1 組及び第 7 組は現在自主防災隊組織なし

令和 5 年度 防災訓練実施要領

和合町自主防災隊

1. 期日：令和 5 年 1 1 月 1 9 日（日曜日）
2. 地域：和合町全域及び浜松市立泉小学校
3. 参加：和合町自主防災隊、和合町民、消防第 8 分団、中消防署富塚出張所
浜松リハビリテーション病院、日本ボーイスカウト浜松第 1 2 団、浜松市
4. 目的：南海トラフ巨大地震を想定し、防災訓練を行うことで住民一人一人が、災害、防災に対する意識を高めることを目的とし、次の訓練を行う。
 - ① 発災を想定し町民の避難訓練をおこなう。
 - ② 発災時の情報連絡、消火、避難誘導、救護、物資補給、避難所開設について、自主防災隊員が訓練を通し、その要領を習得、確認する。
 - ③ 住民は、各部隊の訓練等を自由に見学、体験、学習を行う。
5. 想定：1 1 月 1 9 日（日）午前 7 時 5 7 分、南海沖を震源とする大地震（マグニチュード 9、浜松市での震度 7）が発生し、市内全域にわたり家屋の倒壊、停電、通信網の途絶、水道管、ガス管破裂等の被害が発生。
6. 訓練：和合町自主防災隊は、地震発生を機に対策本部を浜松市泉小学校グラウンドに設置。自主防災活動を開始する。同時に各部隊は、住民の避難訓練を開始する。
※自主防災隊本部訓練の準備は前日並びに当日朝 7 時から行う
6. 訓練テーマ：「わが身を守る、地域を守る防災力」
 - ① 自らの命を守るためにとるべき行動の確認
 - ② 地域における協力体制の確認（共助）

避難訓練について

7 : 5 7	災害発生
8 : 0 0	第8分団 … サイレン吹鳴（高台協働センター入口） 情報班長がハンドマイクを使い、組内住民に災害発生と避難の呼びかけを行う。 「連絡します。ただ今、震度7を想定した訓練災害が発生しました。 皆さん、身の安全を確保してください。揺れがおさまったら、ガスの元栓と戸締りをして、第1次緊急避難場所に避難してください」 ※これを合図に町民が避難訓練を開始。
8 : 1 0	避難誘導班長は、第1次緊急避難場所に避難してきた住民の人数を把握し（男女、大人子ども別に集計）組長に報告。
8 : 2 0 頃	避難誘導班長、班員、組長が中心となり、住民を第2次緊急避難場所に誘導する。
8 : 3 0 頃	組長は、第2次緊急避難場所に到着後、第1次緊急避難場所に避難してきた町民の人数を部隊長に報告。部隊長は、第2次緊急避難場所に避難してきた町民の全数を集計後、無線にて本部に報告。
8 : 4 0 頃	第2次緊急避難場所から泉小学校グラウンドまで各避難誘導班長、班員、組長、部隊長で誘導する。 あらかじめ決めておいた負傷者、要支援者（各1名）には首に目印のカードを付けさせ、誘導時には救護班員が付き添い支援を行う。 ※避難誘導に当たっての注意点 ① 道路の横断には細心の注意を払う。 ② 部隊旗、組旗をもって先導する。（天候により丸めた状態も可） ③ ロープを使って避難者を誘導する訓練を行う。（前後に大人を配置、子供が中。ロープを持って避難する） ④ 避難経路に危険な個所がないか確認を行いながら誘導をする （倒れそうなブロック塀、道のひび割れなどがあれば本部に報告してください。今後の対策を検討につなげます）

9 : 0 0	各部隊は、避難場所入り口に到着後、負傷者、要支援者の搬送訓練を行う。 ① 部隊の中から4～5名が負傷者、要支援者が到着したことを救護部長に報告。 ② 担架2本を受取り、部隊へもどり、負傷者など2名を担架に乗せ、救護本部まで搬送する。(指導：ポンプ隊長) ③ 救護本部の看護師は、負傷者の情報を「救護所受付シート」に記入する ④ 避難誘導部(本部役員)は、泉小学校に到着した要支援者を把握し、リストを作成する。 ⑤ 搬送終了後、グラウンドに部隊ごとに丸くなって集まり、全部隊到着まで待機する ⑥ 部隊長は、避難誘導部長に人数を報告。避難所運営部長から「避難者カード」を受け取り、待機している町民に配布。(実際の避難時に各世帯1枚記入していただくものと、同じものを配布します。今回は記入例が書かれていますので、確認をしてください。このカードは避難所開設時に必要となります)
9 : 1 0 頃	全部隊の到着後、対策本部の指示により整列 自主防災隊隊長の開催宣言 本日の来賓紹介 自主防災隊各部訓練についての説明 解散後、各部の訓練開始。町民は自由に参加
1 0 : 4 5	訓練終了 対策本部の指示により、部隊長の旗を目印に町民は集合(整列する) 講評 自主防災隊隊長のお話 物資の配給
1 1 : 0 0	解散(各自で安全を確認しながら自宅に)

当日泉小学校にて行われる自主防災隊各部訓練

※町民は、これらの訓練を自由に見学、体験、学習可

消火訓練

- ・ 消火器の取り扱い訓練（消火班員対象。一般参加も可）
- ・ バケツリレー消火訓練（消火班員対象。一般参加も可）
- ・ 可搬ポンプ隊による放水訓練
- ・ 消防団による放水訓練

救護訓練

- ・ 救出→応急搬送→AED の連携訓練
救出：可搬ポンプ隊によるジャッキ、枕木を使った訓練
応急搬送：ボーイスカウトによる毛布を使った応急担架による搬送訓練
AED：消防による AED 取り扱いのデモと指導
- ・ 負傷者、要支援者の救護訓練
負傷者は救護部、看護師で行う（応急処置のやり方？）
要支援者は介護福祉士行う（車いすの使い方？）

物資・炊き出し配給訓練(物資部)

- ・ アルファーマの炊き出し訓練。
- ・ カンパン、水の配給訓練。
- ・ 炊き出し及び配給の様子の見学を可とする

避難所運営訓練

- ・ 避難所開設時の受付、入口、動線などをデモとして体育館に設営し、町民に周知する。
- ・ 体育館の中では、段ボールベッド、仕切り、仮設トイレ等の組み立て訓練を行う（一般参加可）

情報訓練

- ・ 無線機を使い、各部隊長と被害の状況、避難状況の伝達訓練をおこなう。
- ・ 集まった情報を整理し、掲示を行う。（避難者、負傷者の人数、負傷状況、各部・市本部から入手した情報など）

各種体験および展示

- ・ スモークトンネルの体験コーナー…消防署・第8分団
- ・ テント設営と生活体験コーナー…ボーイスカウト
- ・ ロープワーク体験コーナー…ボーイスカウト
- ・ 非常持ち出し品等の展示コーナー（北校舎連絡通路付近）
- ・ 防災ニュース等の掲示コーナー（北校舎連絡通路付近）
- ・ 血栓予防体操のコーナー（体育館内）…浜松リハビリテーション病院
- ・ 防災倉庫の見学…各倉庫前、貯水槽前に説明の担当がいるので自由に見学可

中学生対象の防災教室

当日参加の中学生を対象として、防災についての基本事項、避難所のあり方を説明し「いざというとき」助けてもらうだけでなく、自分は何ができるかを考えて動くことが、地域で支え合うということに繋がることを学んでもらう。

この講習を受けることで参加証明書がもらえます。

添付書類

- ・ 防災訓練イベントマップ（運動場、体育館）
- ・ 緊急避難場所の表
- ・ 避難者カード
- ・ 救護所受付シート

防災訓練行動細目

タイムライン		訓練詳細
時刻	実施事項	
防災訓練対策本部:本部		
7 : 0 0	泉小グラウンドへ集合	(1) 本部役員（正副隊長、隊長補佐、総務及び情報・消火・避難誘導・救護・物資・避難所運営各部の正副部長並びに及び専門職）は、本部へ集合する。 (2) 訓練災害発生と同時に、隊長より本部役員及び各部隊に訓練想定情報を伝達する。本部役員は直ちに、それぞれの部署につき任務の遂行に当る。 (3) 訓練地震発生を期に、防災訓練対策本部を浜松市立泉小学校グラウンドに設置する。 (4) 総務担当は、訓練全般の進行を管理する。
7 : 5 7		
8 : 0 0	対策本部設置	

タイムライン		訓練詳細
時刻	実施事項	
防災訓練対策本部：情報部		
8 : 0 0	情報部の設置 情報の収集 情報の整理 情報の伝達 情報の揭示 無線訓練	(1) 情報部長は、隊長の指示を受け、訓練災害発生と本部の設置場所を各部隊に伝達すると共に、各部隊役員は直ちに任務につくよう指示する。 (2) 対策本部情報の連絡は、次に示すルートにより的確に行う。 隊長 ⇄ 情報部長 ⇄ 情報副部長 ⇄ 部隊長 ⇄ 組長 ⇄ 情報班長 (3) 情報副部長は、部長の指示により、各無線との情報連絡を敏速且つの確に行う。(災害時のアマチュア無線機・デジタル無線機有効利用) (4) 情報部長は、各部隊よりの報告について、その都度隊長に報告すると共に、各部長（消火、避難誘導、救護、物資、避難所運営）に関連事項を伝える。 (5) 集まった情報を整理し、揭示を行う。(避難者、負傷者の人数、負傷状況、各部・市本部から入手した情報など) (6) 本部役員は、極力トランジスタ携帯ラジオを携帯するよう周知する。 (実際の災害時には貴重な情報源となる) (7) 次の訓練を行う。 (ア) 部隊長は、本部設置無線機・ハンディー器を活用し、各部隊の災害・避難状況等を正確に本部へ報告する。 (イ) 情報部は、無線機のトラブル及び周囲の状況による交信不可能時に備え、本部⇄各部隊との情報連絡を的確に行うため、無線付パトロール車を備え、各部隊（部隊長）との連絡をサポートしながら巡回する。

9 : 3 0

情報班員訓練

(ウ) 情報部は、情報部長の指示により、中継可能な場所に急行し、本部⇄各無線係との情報連絡に万全を期す。

(エ) 情報部は、本部⇄部隊等への連絡を敏速且つ的確に行うため、互いに協力し情報の収集活動に当る。尚、免許不要なデジタル無線機の使用で情報連絡をより充実化する。

(8) 無線機配備表 (アマチュアハンディ器) 上段

(デジタル無線機・免許不要) 下段

本部	連絡 車両	1 部	2 部	3 部	4 部	5 部	6 部	7 部	8 部	ホソプ 隊	無線 班
2											7
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2

(9) 放送設備の設置を行う。

(10) 部隊長は、情報班長に対して無線に取り扱い訓練を行う。

タイムライン		訓練詳細
時刻	実施事項	
消 火 部		
8：00	消火部の設置	(1) 消火部長は、情報部長から伝達された、火災の状況を把握し、初期消火遂行を確認後、隊長に報告する。
9：30頃	消火訓練 (バケツリレー)	(2) 本部避難場所において、消火訓練を実施する。 バケツリレーによる消火は、消火班を訓練体制に編成して統制ある訓練を行う。 ※ 消火班員には、バケツを用意するよう伝達する。(バケツに氏名を書いておく)
10：00頃	消火訓練（消火器）	(3) 消火器の取り扱い説明後、消火器による消火訓練を行う。
避難誘導部		
8：00	避難誘導部の設置	(1) 避難誘導部長は、隊長から住民の避難誘導の指示により、直ちに各部隊長に対し避難誘導指示を行う。
8：10	避難開始（詳細は、「避難訓練について」を参照）	(2) 誘導人員（男、女、子供別）等の報告ルートは次のとおりとする。 避難誘導班長 ⇒ 組長 ⇒ 部隊長 ⇒ 避難誘導部長 ⇒ 隊長 (3) 避難誘導部長は、本部に到着した各部隊の男女子ども別避難者数を隊長に報告し、所定の場所に集合し待機させる。また、第1次緊急避難場所にて解散した避難者(在宅避難)についても別途集計し報告する。
		(4) 避難誘導部長は、部隊別の避難人数を物資部長に報告する。
		(5) 避難誘導部（本部役員）は、泉小学校に到着した要支援者を把握し、リストを作成する。

タイムライン		訓練詳細
時刻	実施事項	
救 護 部		
8：00	救護所の設置	(1) 救護部長は、防災訓練対策本部設置後直ちに本部内に救護所を開設する。 (2) 救護部長は、部隊長から避難者にけが人や体調不良者などの申し出があった場合は、救護所へ搬送させ、看護師に「救護所受付シート」を記入させる。 (3) 部別訓練においては「救出」⇒「搬送」⇒「AED」の連携訓練に参加する (ア) 可搬ポンプ隊による救出訓練 (イ) ボーイスカウトによる応急担架の作製・搬送訓練 (ウ) 富塚署隊による救命救急 AED（自動体外式除細動器）の取り扱い訓練
9：00	負傷者・要支援者の搬送訓練（詳細は、「避難訓練について」を参照）	
9：30	救護活動訓練	
適宜		
物 資 部		
8：00	物資部の設置	(1) 物資部長は、対策本部設置後直ちに避難所に備えてある非常用物資により、物資の配給の準備を行う。（アルファ一化米・飲料水・乾パン） (2) 物資部長は、避難誘導部長から訓練に参加した避難者の人数を、部隊毎に確認する(第1次緊急避難場所にて解散した者を除く)。 (3) 訓練終了後、部隊毎に非常食（飲料水、かんぱん）の配給を行なう。 ※ 訓練当日の必要物資 巻末訓練当日の必要資材(他部署の資材含む)参照
9：00	アルファ一化米炊き出し訓練	
10：30	物資配給訓練	

タイムライン		訓練詳細
時刻	実施事項	
避難所運営部		
8 : 0 0	避難所の設置開始	(1) 避難所運営部長は、対策本部設置後直ちに避難所(体育館)の開設準備に当たる。 (受付、入り口、動線は、「泉小学校 避難所開設マニュアル」を参照) (2) 避難者は、避難所受付に「避難者カード」(P18)を提出し、避難所に入る。 (3) 本部避難場所において、全員集結後、次の訓練を実施する。 (ア) 浜松市による段ボールベッド、仕切り組立、仮設トイレ等の組み立て体験 (イ) 浜松リハビリ病院による血栓予防体操 (ウ) 中学生対象の防災教室 (エ) 非常持ち出し品の展示コーナー (オ) 防災ニュース等の掲示コーナー (カ) 防災倉庫、貯水槽の見学
9 : 3 0	避難所体験	

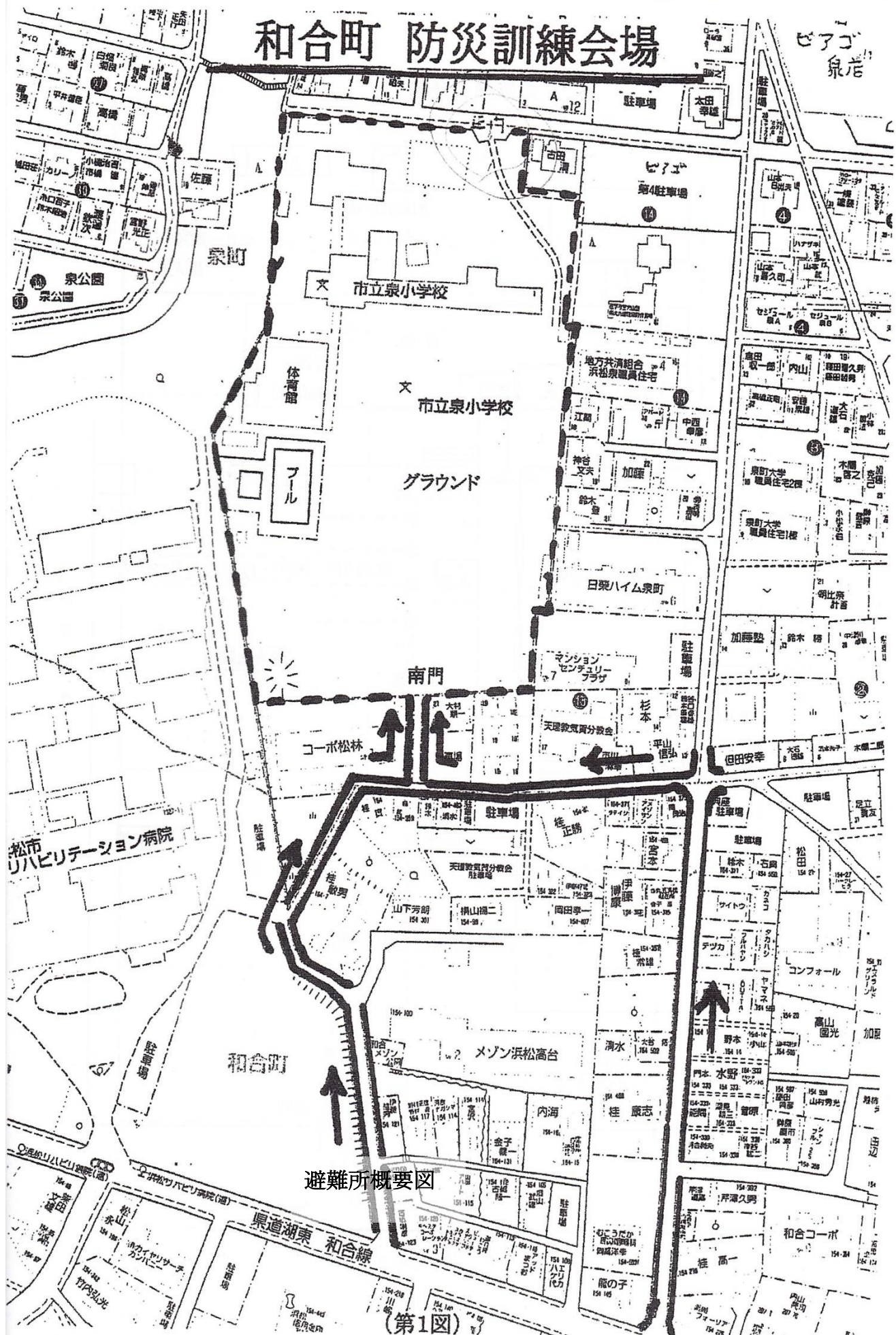
タイムライン		訓練詳細
時刻	実施事項	
ポンプ隊		
8 : 0 0	泉小グラウンドに集合	(1) ポンプ隊長及びポンプ隊員は、11 月 19 日午前 8 時 災害発生の知らせと同時に各班のポンプ待機場所(泉小グラウンド)に集合する。 (2) 班長は、集合した隊員の点呼（参加人員）を行い、結果をポンプ隊長に報告する。 (3) 班長は点呼後、隊員の服装（防災服、ヘルメット、軍手、靴等）を確認する。服装確認後、ポンプ、ホース、燃料等、機材の点検を行い、結果をポンプ隊長に報告、ポンプ隊長からの出動指示が出るまで待機する。 (4) ポンプ隊長は、ポンプ隊員の参加人員、ポンプ機材の点検結果を、防災隊長に無線にて報告し、防災隊長から要救助者の救出命令を待つ。 (5) ジャッキ・まくら木等を使い、倒壊家屋からの被災者救出訓練を行う。 (6) 救護部およびボイスカウトと連携し「救出」⇒「搬送」⇒「AED」の連携訓練を行う。 (7) 防災隊長から無線にて出動命令を受け、ポンプ隊長はその命令により各班へ出動の指示をする。 指示を受けた各ポンプ班は、直ちに泉小学校プールサイドに出動する。 (8) 各ポンプ班は、下記の各役割を、集合した班員により編成する。 指揮者、ポンプ操作員、筒先員、ホース員、破壊器具員、伝令員 (9) 防災隊長の命令に基づき、各班はポンプ隊長の指示により直ちに放水訓練活動に入る。 (10) 防災隊長の命令に基づき、各班はポンプ隊長の指示により直ちに放水を止め、その後撤収する。
9 : 3 0	救出訓練	
1 0 : 0 0	放水訓練	

タイムライン		訓練詳細
時刻	実施事項	
部隊：部・組・班		
8：00	避難訓練の開始（避難訓練についてを参照）	(1) 泉小学校に災害対策本部が設置されたことが、無線で部隊長に伝達される。 避難訓練の開始（避難訓練についてを参照） (ア)情報班長は、避難の呼びかけを行う (イ)避難誘導班長は避難路を確保し、住民の避難誘導にあたる (ウ)消火班員はバケツをもって避難 (エ)救護班長は救急かばんをもって避難 (物資班は直接泉小学校に集合)
避難時	避難誘導班長、組長、部隊長の役割	① 避難誘導班長は、第1次緊急避難場所において避難者の人員を把握し(男女子ども別に集計、1次緊急避難場所にて解散した者(在宅避難)は別途集計)、組長に報告する。 ② 組長は、第一次緊急避難場所において避難者を掌握し、第二次避難所へ誘導する。また、同時に、把握している組内の被災状況を部隊長に報告する。 ③ 部隊長は、第二次緊急避難場所において組長から報告を受けた部隊内の被災状況を把握すると共に、その状況を本部へ報告する。また、避難者を集計（男、女、子供別）し、本部へ報告する。（無線の活用） 本部の指示に従い、組長と協働し避難場所となる泉小学校グラウンドへ誘導する。
9：30頃	各部訓練への参加	各班員は、所属する部の訓練に参加する。（集合の合図あり）

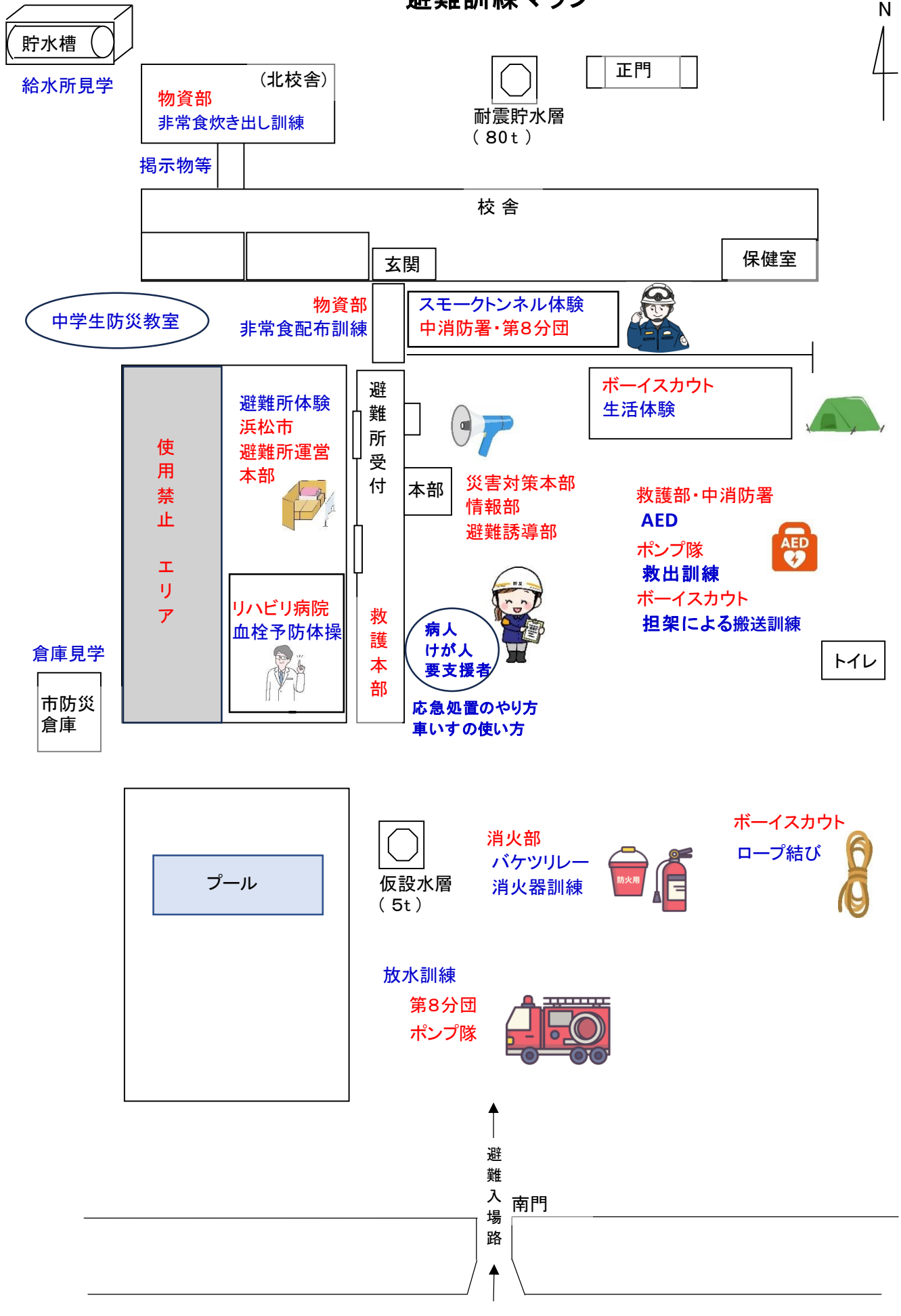
緊急避難場所

	第1次緊急避難場所							第2次緊急避難場所
	第1組	第2組	第3組	第4組	第5組	第6組	第7組	
第1部隊	浜信事務センターの門前	深谷哲氏宅西の駐車場	森永牛乳吉川さん宅前	メディカル和合の北隣鈴木氏宅前	K美容院南側の道路	同 左	木下ハイッ駐車場	K美容院南側の道路
第2部隊	泉小グランド	泉小グランド	泉小グランド	泉小グランド	泉小グランド	泉小グランド		泉小グランド中央付近
第3部隊	市営住宅遊園地	旧もずが谷児童遊園地北側駐車場	高橋澤子さん宅南側の道路	ガーデンハイッ和合横	金岡禱圭氏宅東側の空地	住岡食品の駐車場北側		金岡禱圭氏宅東側の空地
第4部隊	太田自動車南方丸尾昭司氏宅東側の空地	西脇病院東側の路上	サンパレス深谷西側の路上	奥平橋西の広場	青空子供の遊び場	同 左	グランヴィイ和合前の空地	太田自動車東側の路上
第5部隊	深谷マンション西側駐車場	佐藤内科医院南側	アサヒプラザ前の駐車場	うんえい公園	ハコニワペーカリー南のタバコ自動販売機前	同 左	ヴィスタの丘公園	深谷マンション西側駐車場
第6部隊	馬船平公園	同左	同左	同左	同左	同左	同左	馬船平公園
第7部隊	かつ治駐車場	長谷川整形第2駐車場	佐々木竹夫氏宅北のゴミ集積所	しきハイッ和合東側				かつ治駐車場
第8部隊	松本英夫氏宅北側の道路	和合ベース倉庫西	萬和樹氏宅北側					かつ治駐車場

和合町 防災訓練会場



避難訓練マップ



避難者カード（泉小学校）

※ 1 家族 1 枚、記入してください。

避難場所 ※ ここは記入しない。	体育館 南校舎 北校舎 () ()											
所属自治会	和合 部 組 班 泉 丁目 部 組											
住 所	和合町 番地 和合北 丁目 番 号 泉 丁目 番 号 () 市 () 区 () 町											
世帯主名 (家族の人数)			家族の 人数									
家族名 (一緒に避難している方)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td></tr> </table>											
携帯電話	① ②		<持ち主>									
伝えて おきたいこと	☆ 障がいや病気、アレルギー等、共同生活において配慮してほしいことをお書きください。											
※ 安否確認があった場合に、この情報を公開することに	同意する 同意しない											

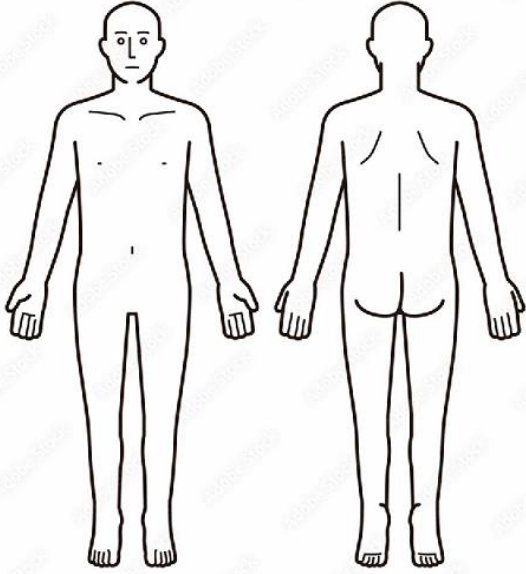
No.

和合町自主防災隊

救護所受付シート

() 月 () 日 (:)

氏 名	
住 所	(Tel — —) () 部 () 組 () 班

現在の症状を教えてください 痛いところ、けがの場所などを右の図に○で記入してください 症状	
持病、基礎疾患等をお持ちですか。 ☐ 無い ☐ ある →	☐ 喘息 ☐ 肺炎 ☐ 高血圧 ☐ 肝臓病(項) ☐ 腎臓病 ☐ 糖尿病 ☐ 心臓病 ☐ その他(病名:)
服用中の薬を教えてください ☐ 無い ☐ ある →	☐ 糖尿の薬 () ☐ 血圧の薬 () ☐ 血液をさらさらにする薬 () ☐ その他の薬 ()
アレルギーはありますか ☐ 無い ☐ ある →	何に対するアレルギーですか ()
かかりつけ医を教えてください ()	
日々の生活で介助が必要ですか ☐ いいえ ☐ はい →	内容
医師に伝えておきたいことがあれば裏面に記入してください	

医師に伝えておきたいこと

避難所 申し送り事項

訓練当日の必要資材(1)

和合町自主防災隊

N0	資 材 名	数量	確認	格納場所	備 考
	[担当：本部役員(共用品)]				
1	テント	2張		第2倉庫	準備担当：副隊長
2	テント用ペグ	20本		〃	〃
3	大ハンマー	1本		第1倉庫	〃
4	テーブル	10個		〃	〃
5	丸椅子	20個		〃	〃
6	ブルーシート	5枚		第2倉庫	〃
7	ブルーシート用ペグ(小ハンマー供)	20本		〃	〃
8	コードリール	2個		第5倉庫	〃
9	放送機器(アンプ・スピーカー・アンテナ・ケーブル)	一式		階段下物入	準備担当：天野消防部長
10	ハンドレスマイク	4台		自治会事務所	準備担当：総務
11	各部隊表示立て看板(黄)	10基		第6倉庫	〃
12	会場入り口案内立て看板	2基		〃	〃
13	本部席各部表示板(ラミネート)	13枚		自治会事務所	〃
14	隊旗、防災各部旗(プラケース入り)	一式		階段下物入	〃
15	ビニールロープ	一式		〃	〃
16	事務用品(筆記具・メモ紙・テープ類・ハサミ・ピン)	一式		自治会事務所	〃
17	トイレットペーパー	5個		雑庫	〃
18	避難者カード	1000枚		自治会事務所	〃
19	防災訓練実施計画書	20冊		〃	〃
20	中高生参加証明書	100枚		100枚	〃
21	中高生参加証明書交付券	100枚		100枚	〃
	[担当：情報部]				
1	デジタル無線機(本部用)	1台		自治会事務所	準備担当：副隊長
2	デジタル無線機(車載用)	1台		軽トラ	〃
3	デジタル無線機(携帯用)部長8,ポンプ3,無線係2	13台		各役員	〃
	[担当：消火部]				
1	バケツ	30個		第2倉庫	準備担当：消火部長
2	ヘルメット	50個		第6倉庫	〃
3	インナーキャップ	50枚		〃	〃

訓練当日の必要資材(2)

和合町自主防災隊

N0	資 材 名	数量	確認	格納場所	備 考
	[担当：避難誘導部]				
1	訓練参加者結果一覧表	1枚		自治会事務所	準備担当：避難誘導部長
2	ホワイトボード	1枚		自治会事務所	準備担当：避難誘導部長
3	シューズカバー(500人分)	1000枚		階段下物入	〃
4	無線係用参加者集計表	4枚		自治会事務所	〃
5	太油性(水性)ペン(黒・青・赤)	3本		〃	〃
	[担当：救護部]				
1	リヤカー	2台		第1倉庫	準備担当：救護部長
2	担架	8組		〃	〃
3	応急担架(ポール・毛布)	3組		〃	〃
4	AED	1台		1Fロビー	〃
5	血圧計	1箱		自治会事務所	〃
6	救急セット	1箱		〃	〃
7	マスク	1箱		〃(収納ケース)	〃
8	手袋	10枚		〃	〃
9	タオル	3枚		〃	〃
10	ウェットティッシュ(除菌用)	1箱		〃	〃
11	ゴミ袋	10枚		〃	〃
12	新聞紙	10枚		〃	〃
13	ガムテープ	3個		〃	〃
14	三角巾	10枚			
	[担当：物資部]				
1	テーブル	4個		第1倉庫	準備担当：物資部長
2	台車	1台		第1倉庫	
3	アルファ化米(1箱)	50食		第6倉庫	〃
4	乾パン(42箱)	1008個		〃	〃
5	飲料水(500ml)(42箱)	1008個		〃	〃
6	ガスコンロ	1台		業 者	〃
7	ガスボンベ	1本		業 者	〃
8	炊き出し用やかん(大)	2個		第4倉庫	〃
9	ずんどう(大)	1個		〃	〃
10	消火器	2本		第6倉庫	〃
11	ブルーシート(大)	4枚		〃	〃
12	ブルーシート(小)	10枚		〃	物資配付用
13	ひしゃく	3本		〃	〃
14	水道ホース10m	1巻		〃	〃

訓練当日の必要資材(3)

和合町自主防災隊

N0	資 材 名	数量	確認	格納場所	備 考
	[担当：物資部](つづき)				
15	チャッカマン	2本		〃 (収納ケース)	〃
16	紙コップ	若干		〃	〃
17	マジックインキ(黒)	2本		〃	〃
18	マジックインキ(赤)	2本		〃	〃
19	ゴミ袋	若干		〃	〃
20	ガムテープ・養生テープ	若干		〃	〃
21	ハサミ	1個		〃	〃
22	カッター	1本		〃	〃
23	手袋(軍手・ビニール)	若干		〃 (収納ケース)	準備担当：物資部長
24	ゴムバンド	1箱		〃	〃
25	ふきん	若干		〃	〃
26	洗剤・たわし	若干		〃	〃
27	手洗い用具	若干		〃	〃
28	パック・はし	若干		〃	〃
29	サンラップ	若干		〃	〃
30	雑巾	5枚		〃	〃
31	マスク	50枚		〃	〃
32	ビニール袋(6Lレジ袋)	1200枚		購入	〃
	[担当：避難所運営部]				
1	組み立て段ボールベット	2セット		階段横	準備担当：避難所運営部長
2	組み立て段ボールトイレ	2セット		〃	〃
3	パーテーション	2セット		〃	〃
4	毛布	3枚		休養室	〃
5	ブルーシート)	2枚		第2倉庫	〃
6	ビブス(スタッフ用)	10枚		階段下物入	〃
7	スリッパ	20足		階段下物入	〃
8	シューズカバー	20足		階段下物入	〃
9	衛生用品	下記一式		自治会事務所	〃
9-1	手洗い石鹸	若干		〃	〃
9-2	手指アルコール消毒液	若干		〃	〃
9-3	ペーパータオル	若干		〃	〃
9-4	除菌ティッシュ	若干		〃	〃
9-5	ゴム手袋	100枚		〃	〃
10	机 (泉小借用)	4基		泉小	〃

訓練当日の必要資材(4)

和合町自主防災隊

N0	資 材 名	数量	確認	格納場所	備 考
	[担当：避難所運営部つづき]				
9-6	マスク(大人用・子供用)	100米		〃	〃
10	血圧計(救護部と共用)	2個		〃	〃
11	検温器(救護部と共用)	2個		〃	〃
12	ゴミ袋	若干		〃	〃
13	筆記用具	若干		〃	〃
	[担当：ポンプ隊]				
1	可搬式小型動力ポンプ	2台		本部防災倉庫	担当：ポンプ隊長
2	同上ポンプ台車	2台		〃	〃
3	消火ホース(65m/m)	6本		〃	〃
4	管そう	2本		〃	〃
5	吸管	2本		〃	〃
6	燃料ポンプ(ポンプ燃料補給用)	1個		〃	〃
7	道板(大:軽トラへの積み下ろし用)	2枚		〃	〃
8	輪止め(軽トラへの積み下ろし時用)	4個		〃	〃
9	燃料携行缶(混合4L缶)	2缶		〃	〃
10	トビ(破壊器具)	2本		〃	〃
11	発煙筒	3本		消防第八分団支給	〃
12	同上用バケツ	3個		本部防災倉庫	〃
13	水槽(5T)	1基		消防富塚出張所貸与	〃
14	防火衣(1班3,2班3)	6着		本部防災倉庫	〃
15	長靴(予備)	1足		〃	〃
16	軍手(予備)	5組		〃	〃
	倒壊家屋からの被災者救出訓練小道具類 一式				
	ジャッキと枕木の入ったコンテナ	1箱		本部防災倉庫	担当：ポンプ隊長
	瓦	10枚		〃	〃
	人形	1体		〃	〃
	角材人形	1体		〃	〃
	展示物(非常持出品)	3箱		和室	担当：コーディネート
	掲示物(防災ニュース)	1揃		〃	〃
	防災食(展示用)	1箱		〃	〃
	机(泉小借用)	4基		泉小	〃

メモ欄



メモ欄



